

充実した夏休みをお過ごしください

校長 黒澤 一慶

本日をもって、1学期が終了しました。保護者や福祉園の皆様には、様々に御理解と御協力をいただき、お礼申し上げます。今日、児童・生徒一人一人に1学期の学習の記録をお渡ししました。御家庭や福祉園において学習の成果を共有していただき、次の目標に向かう心構えを整えていただければ幸いです。

さて、フランスのパリにおいて、7月26日からオリンピック競技大会、8月28日からパラリンピック競技大会が始まります。東京大会から早3年が経ちました。東京都では、東京大会前からオリンピック・パラリンピック教育を進め、本校においては、ボッチャなどの競技を通して近隣の小中学校との交流学习の充実に繋げることができました。スポーツを通して相互に助け合い支え合い、多様性を認め合う人権尊重の精神やボランティア精神を学ぶことができました。

来週から始まるパリ大会においては、各競技の楽しさを味わうとともに、競技の一瞬一瞬に集中し、決して最後まで諦めない選手たちの強い気持ちに心を揺さぶられることでしょうか。長い間この日のために、努力に努力を重ね、心、技、体を磨いてきたそのプロセスを知っているからこそ、私たちは感動を覚えるのでしょうか。4年に一度しか味わえないこの感動をぜひ子どもたちにも、味わってほしいと思います。

長い夏季休業に入ります。暑さに気を付けながら、普段取り組めないことにチャレンジできる絶好の機会です。どうぞ充実した夏をお過ごしください。

修学旅行を通して学び得たもの 中学部主任 松村美華

6月26日(水)から6月28日(金)に中学部3年生は東京都内で2泊3日の修学旅行を行いました。修学旅行の教育的意義とは、学習指導要領で「旅行・集団宿泊的行事/平素と異なる生活環境にあって、見識を広め、自然や文化などに親しむとともに、よりよい人間関係を築くなどの集団生活の在り方や公衆道徳などについての体験を積むことができるようにすること」と定められています。

大切なことは、小学部段階から様々な学習を行う中で、身に付けてきた自分の役割を果たす力、人との関わり方、そして中学部で身につけてきた自分で考える力、コミュニケーション力等を修学旅行という非日常の中で、発揮するということです。

3日間の行程の中で、生徒それぞれに様々な気づきがありました。自分たちで事前にタブレット端末で調べた、皇居外苑や都庁を見て、「本物だ〜」とつぶやく姿、ANA Blue Base Tourでは、本物の飛行機の大きさに驚き、実際に訓練を受けている様子にあこがれる姿、葛西臨海水族園では「これがマグロだよ!」と自分の知っていることを友達に伝える姿、改めて実体験のよさを感じました。また、ホテルでも自分の身の回りのことを自分で行う姿を見て、家庭や寮、学校での日々の積み重ねの大切さを再確認しました。

そして何より全員が係活動を通して、集団の中で自分の役割を果たすことができたことが大きな収穫でした。修学旅行で学び得たことを今後の学校生活や家庭生活に生かして行ってほしいと思います。保護者及び福祉園職員の皆様、御協力ありがとうございました。